

平成 26 年度保護及び管理に関するレポート 内容案

1. 平成 24 年度版 保護管理レポートの概要

- 優先して取り組むべき重要課題の抽出
 - (1) 保護管理の現状
 - (2) 基本認識
 - (3) 課題抽出に当たっての基本的考え方
 - ・ガイドラインの指摘事項
 - (4) 主要課題と対応の方向性
- ニホンザル保護管理の事例紹介
 - (1) 兵庫県
 - (2) 宮城県
 - (3) 神奈川県

2. 平成 25 年度版 保護管理レポートの概要

- 2013（平成 25）年度のニホンザルの保護管理をめぐる動き
- 計画的な保護管理の必要性
 - (1) ニホンザルの特性と計画的な保護管理の必要性
 - 1) ニホンザルの生態・特性
 - 2) ニホンザルによる被害の特徴
 - 3) 群れ管理の必要性
 - (2) 特定計画に基づく保護管理事例
 - 1) 計画的な捕獲オプション
 - 2) 特定計画に基づいた計画的な捕獲事例（滋賀県の個体数調整の事例）
- 計画的な保護管理に向けた現況把握
 - (1) 生息状況調査
 - 1) アンケート調査
 - 2) 聞き取り調査
 - 3) 出没カレンダー調査
 - 4) テレメトリー調査
 - 5) 直接観察による調査
 - (2) 被害状況調査
 - 1) 農業集落単位の被害アンケート調査

3. 平成 26 年度版 保護管理レポートの内容案

●体制の整備と人材の育成

- ・昨年度の本検討会においても、ニホンザルの保護及び管理に当たっては、体制や人材の重要性、必要性が指摘された。
- ・特定計画によるニホンザルの保護及び管理が行われ、一定の成果を上げている事例では、体制の整備や必要な人材の配置が行われている。
- ・上記の理由から、今年度のテーマとして、特定計画を実行する上で必要な体制の整備と人材の育成の重要性を取り上げ、ヒアリングおよび現地調査の結果を基に、情報を整理し、体制が整備されている事例や人材を育成している事例を紹介する。